

三重県立総合医療センター
呼吸器内科

構成

呼吸器科スタッフ 6名

シニアレジデント(呼吸器専属) 1名

有資格

日本呼吸器学会指導医、同専門医、日本呼吸器内視鏡学会指導医、同専門医、日本アレルギー学会専門医、日本感染症学会専門医、がん治療認定医など

当科での研修のメリット

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本感染症学会連携研修施設
- 日本アレルギー学会準認定教育施設



上記の認定医、専門医、一部指導医の資格を
取得可能

当科の特色

- ・多数の専門医、指導医によるシステムティックな教育(三重県下ではおそらく最大人数)
- ・3次救急病院であるため多種、多数の疾患経験を取得可能
- ・夜間、休日祝日の待機医制による、メリハリのついた職場環境

呼吸器科ロードマッピング

- ・三重県立総合医療センター呼吸器科でのシニアレジデント(3年)
 - ・1年間他院での総合内科シニアローテーション1年後に
- 三重県立総合医療センター呼吸器内科でのシニアレジデント2年
(日本内科学会認定医取得)

三重大学大学院
吸器内科学講座(4+ α 年)
↓
博士課程修了、取得
↓
研究者への道
(主に大学)

日本呼吸器学会専門医
日本呼吸器内視鏡学会専門医
その他各種専門資格取得可能

臨床呼吸器科医として診療に貢献
(三重県内の呼吸器科を有する施設)

各種 指導医資格

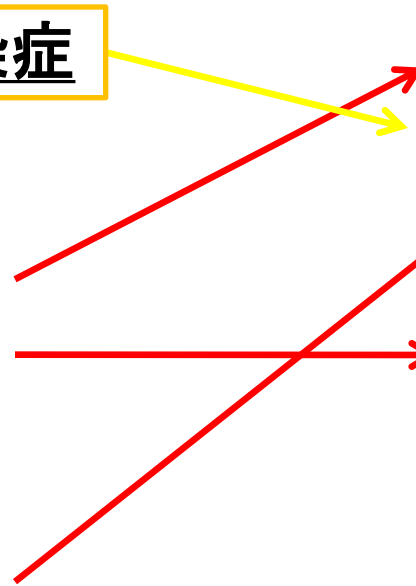
1997年 WHOによる死亡順位の予測

1990年

- 1 虚血性疾患
- 2 脳血管障害
- 3 下部呼吸器感染症
- 4 下痢性疾患
- 5 分娩に伴う傷害
- 6 COPD
- 7 結核
- 8 麻疹
- 9 交通事故
- 10 呼吸器系の癌

2020年

- 1 虚血性疾患
- 2 脳血管障害
- 3 COPD
- 4 下部呼吸器感染症
- 5 呼吸器系の癌
- 6 交通事故
- 7 結核
- 8 胃癌
- 9 HIV
- 10 自殺



もともと呼吸器疾患の死亡率は高いのに、今後さらに呼吸器疾患による死亡順位は上がることが予想される

カリキュラム

レジデント1-2年目

医師としての心構えを養い、救急医療、一般内科的疾患を経験することにより、一内科医として必要な基礎体力を身に付ける

シニアレジデント1年目

より長期の各科ローテーションを行い内科医としての資質を高める。また、場合によっては志望科(この場合呼吸器科)専属でのシニアレジデントとして、より専門科的な疾患を専門医、指導医のもと経験する。一般内科外来を受け持つことで臨床医としての資質を磨く。

カリキュラム

シニアレジデント2-3年目

呼吸器科シニアレジデントの長として、専門医、指導医とともにレジデント、シニアレジデントの指導を行う。到達度によっては、呼吸器専門外来を受け持ち、呼吸器疾患に対する理解を深めていく。

3年目の終わりまでに次の進路を医長と相談し決定していく。

連絡先

三重県立総合医療センター呼吸器科
部長 吉田 正道

〒510-8561

三重県四日市市大字日永5450-132

TEL: 059-345-2321